狭戸尾議員（前進）

平成 26 年 12 月 12 日
教 育 長 答 弁 実 録
（ 教 育 委 員 会 ）

（問）山海島体験活動ひろしま全県展開プロジェクトの成果等について

近年，少子化，核家族化など，子供を取り巻く環境の変化や，地域におけるつながりの希薄化などを背景として，家庭や地域の教育力の低下，子供たちのコミュニケーション能力や規範意識の低下，問題行動等の多発など，子供を巡る課題は多岐にわたっている。

こうした中，平成２２年のモデル的な実施から５年目を迎えている「山・海・島」体験活動“ひろしま全県展開プロジェクト”に関し，教育委員会が実施した意識調査でも，９割の保護者が「体験活動を通じて子供が成長したと思う」と肯定的に回答するとともに，児童の行動・態度に関しても，この体験により，「今まで以上にお手伝いをするようになった。」，「自分のことは自分でするようになった。」，「自分から積極的に行動するようになった。」といった評価を得ていると聞いており，私も大いに期待している。

そこで，保護者からも児童からも良い評価を得ているこの事業について，これまで実施してきた成果と，県内すべての小学校での実施に向けた今後の取組について，教育長に伺う。

（答）

平成２２年度から実施をしております「山・海・島」体験活動では，３泊４日の宿泊体験活動を通して，協調性や積極性，コミュニケーション能力等において，児童の体験後の姿に大きな成長が見られております。

また，実施校からは，「改めて家族の大切さに気付くことができた」「自分のことだけでなく人のことも考えようと思った」などの児童の感想が挙げられており，児童の豊かな心の育成に大きな教育効果をもたらしているところでございます。

今年度は県内の小学校の４５％に当たる２１３校が実施しており，来年度は，７３％に当たる３４１校が実施する予定となっております。

県といたしましては，今年度から，市町教育委員会の代表者を対象とした「連絡協議会」を開催し，効果的な実施方法や環境整備について協議を行い，その成果の共有を図っているところであり，引き続き，県内全ての公立小学校において実施されるよう取組を進めてまいります。